

月刊「いいテク・ニュース」Vol. 120【最新開催セミナーご案内！】

□■(株)技術情報センター

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

★☆☆☆【12月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】★☆☆☆

□■ 2013.11.19 Vol.120 ■□

初冬、小春日和のような日が少しつつくと桜や桃、つつじなどが季節はずれの花を咲かせることがあります。

これを帰花(かえりばな)といいますが、「返り花」とも書かれ、ひとが忘れた頃に咲くので、「忘れ花」「二度咲き」といった言い方もされます。俳句では冬の季語の一つとなっています。

風に匂ひやつけし帰花

風=こがらし

松尾芭蕉(まつお ばしょう)

(1644-1694)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第120号をお届けいたします。

今回も2013年12月開催19セミナーと新規取り扱い書籍情報13タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでお読みいただくとありがたく存じます。

□■

i n d e x

□■

◇セミナー情報[2013年12月開催セミナー/19件]

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-12.html>

◇おすすめセミナー Pick Up

【12/19(木)『水銀規制条約/水銀除去処理・リサイクル・測定』セミナー】

<http://www.tic-co.com/seminar/20131213.html>

◇新規取り扱い書籍情報（13 タイトル）

<http://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料 Web サイトアクセス数ランキング

<http://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇ E-mail 変更・不要について

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇雑記帳

<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201311.html>

□ ■ ----- ■ □

セミナー情報

[2013 年 12 月開催セミナー/19 件]

□ ■ ----- ■ □

当社主催セミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URL にてご案内致しております。

■ 12 月 3 日 (火)-----

ー前回より受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えたー
現場で役立つ電気の基礎知識
～専門外の方のための～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131201.html>

■ 12 月 4 日 (水)-----

雷現象と雷害対策の基礎と実際
～雷サージの発生様相から、雷防護の国際規格、具体的な
対策方法～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131207.html>

■ 12 月 4 日 (水)-----

我が国鉄道システムの海外展開及び最近のプロジェクトからみる
関連技術・システムの売り込み方、日立の鉄道事業グローバル展開
～国土交通省、サトーレイルウェイリサーチ、日立製作所の方より

詳述～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131208.html>

■ 12月 5日(木)-----

プラントコストの見積り方法とコストコントロールの進め方

<http://www.tic-co.com/seminar/20131202.html>

■ 12月 5日(木)-----

熱交換器（プレート式を中心に）の基礎から市場要求に対応した設計の実際と低～中温度域を含めた熱回収用熱交換器の適用事例及び最新技術

※一個別（各テーマ）受講可能！！－※

<http://www.tic-co.com/seminar/20131210.html>

■ 12月 6日(金)-----

－うまく熱を使いこなすための－

蓄熱技術の理論と応用・システム展開

～蓄熱材及び蓄熱機能を有する機能性熱流体の特性から

システムへの応用、適用ポイント、最近の蓄熱技術の開発動向

まで～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131203.html>

■ 12月 6日(金)-----

～トラブルを未然に防止する～

配管設計の基礎と押さえておきたい留意事項

<http://www.tic-co.com/seminar/20131206.html>

■ 12月 12日(木)-----

～これだけは知っておきたい～

契約及び契約書の実務知識

<http://www.tic-co.com/seminar/20131205.html>

■ 12月 12日(木)-----

メタン発酵／バイオガス利活用のための

技術と事業及び研究開発の最新動向

<http://www.tic-co.com/seminar/20131219.html>

■ 12月13日(金)-----

放射性廃棄物及び福島第一原発事故に起因する廃棄物ならびに、
福島第一原子力発電所における廃棄物管理の現状と1～4号の
廃止措置に向けた処理・処分に関する動向と技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20131217.html>

■ 12月13日(金)-----

太陽光発電における事業リスク低減・長寿命安定発電のための
運用と監視・制御・診断・維持管理など保守技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20131218.html>

■ 12月17日(火)-----

水素製造・貯蔵・輸送・利用技術と実証・研究開発の最新動向
～講師6名による充実のラインナップ～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131209.html>

■ 12月17日(火)-----

ーリチウムイオン蓄電技術・制御・適用例を中心に、デュラソン
電力貯蔵システムまでー

Liイオン電池など定置型蓄電/システムと制御・適用・活用例を
含めた技術開発動向

～東京大学、東芝、清水建設、パナソニック、GEの方より詳述～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131215.html>

■ 12月18日(水)-----

ー講師が開発したプログラム(ソフト)を専用USBにて配布！！
演習により即活用できる。またシミュレータ開発に関して
約40年にわたる経験に基づいて得た注意点も併せて説明ー
吸着・脱着におけるデータ解析とシミュレータの開発・適用
～研究開発の効率化、正確な操作・設計のためのパソコンを用いた
データ解析とシミュレータ開発・適用について～

<http://www.tic-co.com/seminar/20131204.html>

■ 12月18日(水)-----

～本年10月に好評頂いた防爆セミナーに
新たなテーマ・内容を追加し、ブラッシュアップ！！～
世界の防爆規格（機能安全含め）動向とその解説及び防爆技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20131216.html>

■ 12月19日(木)-----

圧縮機(コンプレッサ)の効率・性能向上と
設計・開発及びエネルギー回収/発電・蓄電技術
～プロセス用ターボ圧縮機、スクリーン圧縮機・膨張機～
※一個別（各テーマ）受講可能！！※
<http://www.tic-co.com/seminar/20131212.html>

■ 12月19日(木)-----

—急拡大する市場、買取価格の引き上げなど更なる追い風が吹く—
洋上風力発電の要素技術開発・実証研究動向
～経済性、事業成功のポイント、着床式・浮体式の具体的な実証
状況、経済性の高い次世代型洋上風力発電など～
<http://www.tic-co.com/seminar/20131211.html>

■ 12月19日(木)-----

水銀に関する水俣条約と
水銀除去処理・リサイクル・測定技術と今後の展望
<http://www.tic-co.com/seminar/20131213.html>

■ 12月20日(金)-----

高周波・マイクロ波加熱・乾燥の基礎から、
装置設計と最新動向及び応用事例
<http://www.tic-co.com/seminar/20131214.html>

各月毎のご案内を、下記 URL にご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2013年12月開催セミナー

<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-12.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。



おすすめセミナー Pick Up



今回の Pick Up セミナーは

『水銀に関する水俣条約と
水銀除去処理・リサイクル・測定技術と今後の展望』

です

● 講師 海外環境規制研究所 代表 鈴木明夫 氏

<講師紹介>

専門分野：海外の環境規制、環境対策技術

略歴：1962年、慶応義塾大学工学部応用化学科卒業。

同年日本鋼管株式会社（現JFEスチール(株)）入社、
環境対策技術の研究開発に従事。

1995年、JICA専門家としてインドネシア政府環境
管理庁赴任、環境汚染のモニタリング技術と評価法の
指導等を実施し、環境管理専門スタッフの育成に従事。

1998年、JFEテクノリサーチ(株)入社、経済産業省、
公益法人、企業等からの委託事業として海外の環境規制
の調査に従事。

2010年、退社。海外環境規制シリーズの執筆・発刊を開始。

BAT/BEPによる排出規制発刊。海外の環境規制法規のダウン

ロード方法発刊。

●講師 (公財)東京財団 研究員 染野憲治 氏

●講師 三菱重工業(株)
エネルギー・環境ドメイン
火力発電システム事業部
環境プラント総括部 脱硫技術部長 長安立人 氏

●講師 首都大学東京大学院 理工学研究科
電気電子工学専攻/
超伝導応用工学研究室
准教授 三浦大介 氏

●講師 IHテクノロジー(株) 常務取締役
愛媛大学 客員教授 幾島賢治 氏

<講師紹介>

1974年東京電機大学卒業後、太陽石油(株)入社、
1998年工学博士(東京工業大学)、
2003年同社中央研究所長、
2008年(財)国際石油交流センター参事、
2012年愛媛大学客員教授、
2013年IHテクノロジー(株)常務取締役就任。

●講師 日本インスツルメンツ(株)
開発部 応用技術グループリーダー
兼 営業部
海外営業グループリーダー 渡辺朋亮 氏

●講師 野村興産(株) 常務取締役 藤原 悌 氏

●日時 2013年12月19日(木) 9:30~16:50

●会場 東京・新お茶の水・連合会館（旧 総評会館）・2F会議室

●受講料 49,980円（1名につき）

（同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円）

※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

【プログラム】

I. 水銀条約の概要及びBAT/BEPによる排出規制と今後 (9:30-10:40)

1. 水銀条約の概要

1.1 水銀条約の目的・経緯

1.2 水銀条約とBAT/BEP

2. BAT/BEPによる規制とは

2.1 BAT/BEPによる規制の誕生

(1) 汚染物質の排出をゼロにする理念

(2) 理念達成のためのBAT/BEP

2.2 BAT/BEPによる排出基準値設定の手順

(1) 米国における事例

(2) EUにおける事例

3. 米国とEUにおけるBAT/BEPによる水銀排出基準

3.1 米国における排出基準

(1) 石炭火力発電

(2) セメント製造設備

(3) 廃棄物焼却

3.2 EUにおける排出基準

(1) 石炭火力発電

(2) 非鉄金属製造

(3) セメント製造

(4) 廃棄物焼却

4. 水銀排出規制への対策技術

4.1 水銀の排ガス中の存在形態と特性

4.2 発生源別・処理技術別の除去効率

5. 水銀条約の今後の推移予測

5.1 国内法規制定までのスケジュール

5.2 水俣条約における排ガス基準設定

6. 質疑応答・名刺交換

(鈴木 氏)

II. 中国における水銀問題と中国政府の動き

(10:50-11:20)

1. 中国の環境の状況

(1) 大気、水質

(2) エネルギー

2. 中国の重金属汚染事件

(1) 重金属による汚染

(2) 水銀汚染事件

3. 中国の水銀使用量及び用途

(1) 水銀使用量及び用途の推計

4. 中国の水銀汚染防止対策

(1) 中国の環境対策

(2) 水銀規制

5. 質疑応答・名刺交換

(染野 氏)

III. NH₄Cl 噴霧による水銀除去システム

(11:25-12:15)

1. 水銀規制に対する世界の動向

2. 火力発電所における環境対策設備

(1) 脱硝装置

(2) 除塵装置

(3) 脱硫装置

3. 水銀除去技術

(1) 水銀除去技術概要

(2) NH₄Cl 注入による水銀除去技術

4. 質疑応答・名刺交換

(長安 氏)

IV. 磁性活性炭を用いた溶液中からの水銀磁気分離除去

(13:10-14:00)

※講演概要が決定致しましたら、随時アップさせていただきます。

(三浦 氏)

V. ガス・石油からの水銀除去装置の開発とシェール層における水銀 (14:10-15:00)

<講演要旨>

原油および天然ガスには微量ではあるが水銀が含まれおり、これら水銀が配管の腐食、触媒の劣化等を誘発、さらに健康への影響等の多くの知見は既にある。そのため、原油および天然ガスからの水銀除去装置は多くの国で稼動している。

しかしながら、これらの水銀除去装置は複雑な装置構成で多額の投資額が必要である。今般、弊社では石油製品、天然ガス、大気および水質等で使用できる簡易装置で廉価な水銀除去装置を開発したので本講演で紹介する。

1. 原油および天然ガスに含まれる水銀の概要
2. 石油製品から水銀除去装置の開発および装置稼動状況
3. 天然ガスから水銀除去の開発および装置稼動状況
4. シェールガスからの水銀除去の現状
5. 水俣の水銀国際会議を踏まえて原油、天然ガス、シェールガス、大気、水質の水銀除去
6. まとめ・質疑応答・名刺交換

(幾島 氏)

VI. 水銀測定装置の用途と測定技術について (15:10-15:50)

<講演要旨>

様々な分野で使用されている水銀測定装置。測定対象・目的に適した水銀測定装置と測定技術をご紹介します。「水俣条約」採択により水銀測定装置がどう関わるのか。応用技術、今後の課題なども踏まえご説明いたします。

(渡辺 氏)

VII. 水銀含有廃棄物の処理・リサイクル技術
(16:00-16:50)

1. 会社概要
2. 水銀含有廃棄物について
3. 焙焼処理
4. 水銀の長期安定保管
5. 質疑応答・名刺交換

(藤原 氏)

—名刺交換会—

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記 URL にてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20131213.html>

■ _____ ■

新規取り扱い書籍情報 (13 タイトル)

■ _____ ■

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にごございます URL にて
ご案内致しております。

---- 《 エネルギー 》 -----

リチウムイオン 2 次電池の革新技術と次世代 2 次電池の最新技術
<http://www.tic-co.com/books/13sta099.html>

大容量 Li イオン電池の製造・コスト解析と安全性
<http://www.tic-co.com/books/2013t915.html>

次世代燃料電池開発の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2013t909.html>

---- 《 ファインケミカル 》 -----

2014年版 ファインケミカル年鑑

<http://www.tic-co.com/books/2013a717.html>

---- 《 エレクトロニクス材料 》 -----

中小型タッチパネルの機能・耐久・生産性を向上させる材料技術

<http://www.tic-co.com/books/13sta098.html>

---- 《 情報システム材料・技術 》 -----

構造物モニタリング技術の開発と応用

<http://www.tic-co.com/books/2013t914.html>

---- 《 食品関連 》 -----

機能性糖質素材の開発と食品への応用 II

<http://www.tic-co.com/books/2013t913.html>

---- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

化粧品・医薬部外品およびその原料の安全性評価と
規格・試験法設定

<http://www.tic-co.com/books/13stp082.html>

[改訂版] 医薬品包装・容器の材料要求特性と
3 極局方の品質基準・試験法

<http://www.tic-co.com/books/13stp085.html>

PMDA 要求「EDC 管理シート」記載方法と適合性調査対応
<http://www.tic-co.com/books/13stp086.html>

ニュートリゲノミクスを基盤としたバイオマーカーの開発
<http://www.tic-co.com/books/2013t917.html>

---- 《 ニューバイオテクノロジー 》 -----

コラーゲンの製造と応用展開 II
<http://www.tic-co.com/books/2013t918.html>

---- 《 界面化学 》 -----

長期信頼性・高耐久性を得るための接着/接合における
試験評価技術と寿命予測
<http://www.tic-co.com/books/13stm012.html>

□ ■ ————— ■ □

セミナー及び書籍・調査資料 Web サイトアクセス数ランキング

□ ■ ————— ■ □

2013 年 9 月 1 日から 10 月 31 日までの 2 ヶ月間のセミナー及び
書籍の Web ページアクセス数ランキングを挙げてみました。

..... ★ セミナー ランキング ★

第 1 位 『「カーボン・オフセット」の最新動向と事業戦略』
～カーボンオフセットの提案書・稟議書を書くための知識～
(2008 年 5 月 22 日(木)開催)
<http://www.tic-co.com/seminar/20080503.htm>

第 2 位 ー前回より受講定員を絞り「実機による演習」を豊富に交えたー

『現場で役立つ電気の基礎知識』

～専門外の方のための～

(12月3日(火)開催)

<http://www.tic-co.com/seminar/20131201.html>

第3位 『金属腐食のメカニズムと長期信頼性にむけた
耐食性評価方法及び腐食対策』

(10月24日(木)開催)

<http://www.tic-co.com/seminar/20131002.html>

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201311S.html>

今回は第1位に

『「カーボン・オフセット」の最新動向と事業戦略』

～カーボンオフセットの提案書・稟議書を書くための知識～

がランクイン。

地球温暖化の防止を話し合う COP19(国連の気候変動枠組み条約第19回締約国会議)で、巨大台風で大規模な被害を受けたフィリピン政府代表団が11日に演説し「祖国を襲った極端な異常気象は狂気だ。私たちでなければ、誰がいつ地球温暖化を食い止めるのか」と涙ながらに交渉進展を訴えたと伝えられています。

このフィリピンの例をはじめ、昨今の異常気象の原因は海水温の上昇等地球温暖化にあるとされる中、今後のCO2削減と排出権取引への関心が高まってのランクインなのでしょう。

それにしても、2008年開催セミナーが2位に大差をつけての1位は意外です。

…………… ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆ ……………

第1位 『In vitro 毒性・動態評価の最前線』

<http://www.tic-co.com/books/2013t912.html>

第2位『界面ハンドブック』

<http://www.tic-co.com/books/02nts040.htm>

第3位『熱電変換技術ハンドブック』

<http://www.tic-co.com/books/09nts218.htm>

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<http://www.tic-co.com/access-lanking/al201311B.html>

第1位に『In vitro 毒性・動態評価の最前線』がランクイン。

本書は1)医薬品の開発において、作用機構を基本とした副作用を予想できるバイオマーカー、測定指標に関する研究・開発が進んでいる。2)動物実験の削減、実験動物の苦痛の軽減、動物実験の置換えなどで動物を使わない動物実験代替法の必要性が謳われている、3)胚性幹細胞 (Embryonic stem cells) や人工多能性幹細胞 (induced Pluripotent stem cells) を利用した試験法の可能性が増してきたなどを解説した内容が多くアクセスを生んでいるのでしょう。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■

E-mail 変更・不要について

■ _____ ■

E-mail アドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、

★ 旧 E-mail アドレス

★ 新 E-mail アドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』

とご記入頂き、本文には、

★ E-mail アドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記 URL でも承っております。

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □

雑記帳

□ ■ _____ ■ □

『胡桃(くるみ)』

今回は美と健康をもたらす実！！「胡桃」を取り上げました。

胡桃は紀元前 7000 年の昔から人類が食用にしていた最古の実です。

日本では縄文時代のころの遺跡から発見されています。

古代から人類に重宝されてきた「胡桃」についての豆知識をお届けします。

こちらから↓

<http://www.tic-co.com/zakkicyou/zk201311.html>

□ ■ _____ ■ □

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com